

2017年8月28日
イデックスグループ

全石連・都道府県石油組合主催 「満タン&灯油プラス1缶運動」を展開 災害時に備えた「民間備蓄」を呼びかけ

当社グループは、全石連・都道府県石油組合が主催し、内閣府・資源エネルギー庁・国土交通省が後援する「満タン&灯油プラス1缶運動」を展開し、9月1日「防災の日」よりイデックスグループ約360ヶ所の全サービスステーション(以下:SS)にて災害時に備えた石油製品の「民間備蓄」の呼びかけに取り組みます。

強しなやかな国民生活の実現のための防災・減災、そして強靱な国づくりのために取り組むべき具体的な施策をまとめた「国土強靱化アクションプラン2017」において、2016年度版では自衛的備蓄について「公的施設等への燃料備蓄」とあったものが、「公的施設や一般家庭、自動車等への燃料備蓄や自家発電機の導入等の普及啓発を推進するとともに、災害発生時の情報収集方法の構築等を進める。」と加筆されており、この内容が本運動の主旨になっています。

2016年4月熊本地震発生時には、熊本にあるイデックスグループのSSにも石油組合や各事業所から緊急配送の依頼が殺到し、車中での生活のためのガソリン・軽油、暖房用の灯油を求め長蛇の列ができました。

この経験を踏まえ、防災対策として災害時、ラジオを通じた情報収集の拠点となる車のガソリン・軽油は満タンにし、暖房用の灯油は1缶余分に備えておくことを推進します。

今後大規模災害が発生した際、石油製品の供給不足による混乱を防止するためにも、車の燃料、灯油1缶の「民間備蓄」を「満タン&灯油プラス1缶運動」のノボリの設置やポスターの掲示を通じて呼びかけ、日頃から備蓄を心掛けていただくことで、災害時においてもお客様に安定した供給を持続できる体制を目指します。

「満タン&灯油プラス1缶運動」の詳細はこちら



当リリースに関するお問合せ先

株式会社新出光 広報担当: 樋渡、大塚 電話: 092-291-4134

以上